

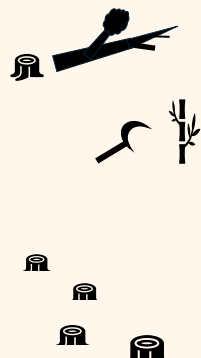
日野市立旭が丘小学校 学校林整備

目的

児童の環境学習の場として活用するため学校林を整備する

内容

- ① 倒木の可能性がある木の伐採
- ② 繁茂した笹、灌木等の刈払
- ③ 歩道整備
- ④ 活動の場・遊び場の整備(予定)



実施期間：令和8年4月から令和11年3月まで

整備費用：50万円以上(複数企業合同での実施も可)

※ 整備内容は費用に応じて計画します。

※ 大径木等の危険を伴う伐採は別事業等でプロへ委託して実施します。

安全かつ簡単な刈払作業はこの事業とは別にPTAや地元有志等が行います。



経緯

日野市立旭が丘小学校学校林は、学校に隣接する雑木林で、長年児童の活動の場として親しまれています。平成16年には、全日本学校関係緑化コンクール学校林の部で第1位となる特選を受賞し、自慢の学校林として、学校・PTA・地域の方々により大切に維持管理されてきました。

近年、樹木が大きく育ち過ぎ、枯れ木も増えていることに加え、コロナ渦をきっかけに手入れが行き届かなくなったことから、児童が立ち入れない荒れた場所が増えてしまいました。

令和9年度の学校創立50周年に向けて、かつて日本一に輝いた学校林を取り戻すべく、整備を行います。子どもたちが安全で楽しく活動できる場となるよう、ご協力をお願いいたします。



灌木と笹により林床が覆われた状況



虫害等により衰弱した木